

第39回卒業証書授与式 式辞

春の息吹が感じられる今日の佳き日、藤堂PTA会長様・広島県議会議員渡辺のりこ様をはじめ、日頃より本校教育の推進に大変お世話になっているご来賓の方々のご臨席と、多数の保護者の皆様方のご列席をいただく中で、広島市立落合中学校 第39回卒業式を挙行できますことを、教職員を代表致しまして、お礼申し上げます。ありがとうございます。

卒業する皆さん。今私が皆さんにお渡しした卒業証書は、皆さん三年間の努力と、いつも深い愛情で支えてくださったご家族の努力、そしてこれまで指導してくださった先生方の努力の結晶でもあります。このことを胸に刻み、その重みを感じてほしいと願っています。

私は君たちと出会い、心に残っていることがたくさんあります。夏の暑い中、一生懸命声を出し、後輩をまとめ成功に導いてくれた体育祭。「緩歌慢舞 歌の力 今ここに 響け 落中 symphony」のスローガンを掲げ取り組んだ合唱祭。そして3年生最後の全体合唱「桜の季節」では、君たちの素晴らしい歌声が響き渡り、会場の人に多くの感動を与えてくれました。また「校門一礼」を自ら率先し、学ぶことに感謝する心や礼節のすばらしさを後輩に示し、この学校に新しい伝統を築いてくれました。

さて、皆さん、この落合中学校を卒業するにあたり、これからやりたいこと、夢や希望を心にいただいていると思います。

お隣の山口県出身で近代日本のために活躍した吉田松陰は次のような言葉を残しています。「夢なき者に理想なし。理想なき者に計画なし。計画なき者に実行なし。実行なき者に成功なし。ゆえに夢なき者に成功なし」と。この言葉のようにも夢や高い志を持ち続けてほしいと思います。私は普段から「学びから逃げない」というメッセージを送ってきました。人は一生、自分の夢に近づけるために、そして幸せをつかむために学び続けます。君たちにはこれからも学び続け、新しいステージで活躍することを期待しています。

終わりにになりましたが、保護者の皆さま、本日はおめでとうございます。皆様の大切なお子さんを三年間お預かりいたしましたでしたが、私どもの力不足で、ご期待に添えなかった点、多々あったと思います。しかしながら子どもたちは皆心優しく育ってくれました。これも皆様の学校に対するご理解とご協力のおかげと深く感謝いたします。ありがとうございます。

ご来賓の皆様、地域の皆様、本日はご多用の中、式典に参列いただき、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。卒業していく子どもたちはまだまだ多くの支えが必要です。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

それでは卒業生の皆さん、いよいよお別れです。

君たちの将来に幸多かれと祈り、式辞といたします。

平成27年3月12日 広島市立落合中学校校長 原之園 和弘